

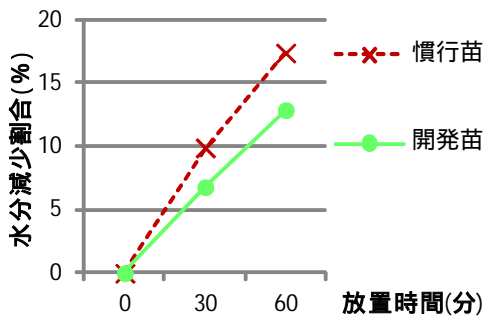
## 担い手の高齢化に対応したイネの育苗技術を開発

水稻ロングマット育苗技術の開発により、水稻の育苗は省力化と軽作業化が可能になりましたが、苗が軟弱なこと、初期投資費用が大きいことが弱点でした。そこで、弱点を解消した、お年寄りでも容易に行える新しい育苗技術を開発しました。

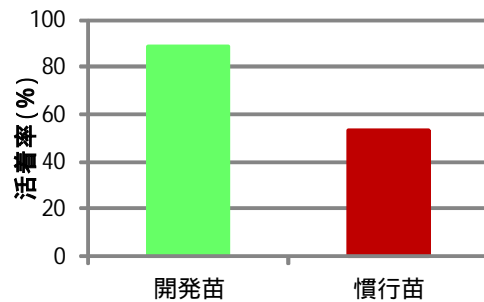
その結果、育苗期間を 21 日～28 日、は種量を 1.5kg/ベッドとし、肥料は種子を播いた後 7 日目に濃厚原液を 800ml/ベッド、ウォーターシリカ(珪酸質資材) 500g/ベッドをネット袋に入れ、養液タンクに投入することで乾燥に強い健全な苗を作ることができます。

また、育苗用の施設の改良で、初期投資費用が従来の 40%になりました。

### 健やか中苗ロングマット育苗



【水分減少割合】 注) 2011年、キヌヒカリ  
地上部を室温に放置した時の水分減少割合を示した



【珪酸施用と活着率】 注) 2011年データ  
フェーンの吹く条件であったため、軟弱な慣行苗は枯死し活着率が低下した。

開発苗は水分の蒸発速度が遅く、乾燥状態に強い健苗です。  
このため、フェーン現象による風が吹く中の田植えでも高い活着が期待できます。

### 初期投資費用の安価なプール・トンネル育苗



図3 プール・トンネル育苗

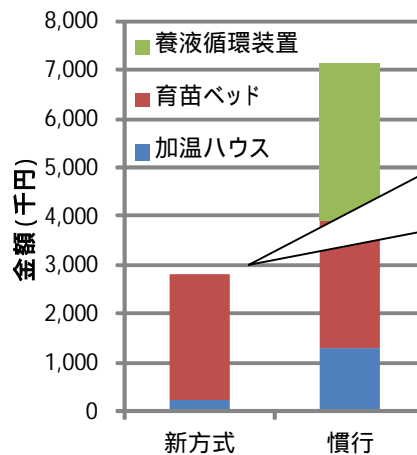


図4 新方式の初期投資費用(5ha規模)

初期の施設整備費用がこれまでの4割に削減!



コバトン

プール・トンネル育苗方式は、育苗日数は 21～28 日、種量は 1.5～2.0kg/ベッド、水管理はじょうろで適宜、施肥は屋外管理～移植 5 日前までに 2～3 回行います。は種から草丈 4～5cm まで明るい日陰でビニール被覆をすると、安定した苗立ちが得られます。養液循環装置と高価なビニールハウスが不要なため、従来の 4 割の費用で導入できます。